

令和2年度沼津市総合計画審議会 合同部会 における意見のまとめ

基本計画

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
P2など	SDGsの記載	基本計画案の中に、SDGsについて複数記載があるが、どこかでSDGsと基本計画の関連付けの説明を記載する必要がある。	指摘を踏まえて追記する。	第2章 施策の関連 1 体系図 の次に「2 まちづくりとSDGsとの関連」として記載を追加し、「本市の10年後の姿」を3とする。
P5～7	「地域別のまちづくりの方向」 「分野別まちづくりの方向性」	地区の区割りにより、市の施策についての考え方が出たため、大切な考え方である。説明書きの中に、地区において重点を置く施策について載せていく趣旨の表現をもう少し加えてもよいのではないか。 「第3章分野別まちづくりの方向性」と「地域別のまちづくりの方向」について、ある程度内容が重なる部分があり、市民にはわかりにくいのではないか。それぞれ、独立してしまっているように感じる。	「地域別まちづくりの方向」のなかで、それぞれの施策分野ごとの説明もあるが、後に続く「分野別まちづくりの方向」に流れがつながるようにするなど、わかりやすい表記、構成を検討する。	指摘を踏まえ、「地域別まちづくりの方向」を「第4章 地域別まちづくりの方向」として、「第3章 分野別まちづくりの方向性」の次に配置し、分野別のまちづくりの施策が地域における具体の施策につながることをイメージしやすいように順番を変更する。
P7	「重点取組施策」	各柱における「重点取組施策」はどのような記載になるのか。	まちづくりの柱の中で、2～3つ程度、重点施策を記載する予定である。	案については、資料3のとおり 第3章 分野別まちづくりの方向性 の各まちづくりの柱の最初のページに記載する方向で検討する。
P7	「成果指標」	各柱に指標を設けるのであれば、現状を把握するもの(チェックするもの)と捉え、成果指標ではなく主要指標などといった表記にした方がよいのでは。	指摘のとおり修正する。	

第1部会 元気・健康部会 における意見のまとめ

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

全体に関わる部分

	表記について	「障害」の表記について、せめて「害」という字を平仮名にするなどの配慮をしてほしい。当面は「障害」表記を採用するとしても、今後の国動向や市の方針の変更等の機会に合わせ、修正を検討してほしい。	指摘を踏まえて、今後の国動向や市の対応方針の変更との機会に合わせ、修正を検討する。	修正なしとする。
--	--------	------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------	----------

柱1-1 誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくり

P8	現状と課題	「まちづくりへの主体的参画者」という表現に違和感	表現を修正する。	「主体的にまちづくりへ参画する人」に修正する。
P8	目標 動き出す 創り出す	協働のまちづくりの推進は、庁内だけにとどまらず、全庁的な課題として取り組むべきである。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「協働のまちづくりを全庁的に推進します。」の「全庁的に」を削除する。

柱1-2 多様性を認め合い尊重するまちづくり

P11	1 多様性を認める 社会の醸成	「姉妹都市・友好都市等との交流」について、オンラインによる交流など、様々な技術を活用した「交流」の在り方を踏まえて施策に取り組んでもらいたい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「姉妹都市、友好都市等との交流を様々な形で促進し、～」に修正する。
P11	1 多様性を認める 社会の醸成	全ての人の多様性ということでは、「年齢」や「障害の有無」による違いという視点が必要ではないか。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「多様な性のあり方に～」を「多様な性のあり方に対する理解を促進するための学習機会の充実や周知啓発に努めるとともに、様々な違いによって異なる不利益な扱いを受けることのない共生社会の実現に向け、～」に修正する。
P11	1 多様性を認める 社会の醸成	多様な性の在り方については、行政自身を対象とした周知啓発等を課題として取り組んでもらいたい。	意見は、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P11	2 男女共同参画の推進	単に「休暇制度や短時間勤務制度の活用を推進」するということではなく、家事も含めた子育てや介護への男性のより一層の参画の促進という視点での取組が必要である。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「子育てや介護への男性の～」の部分で、「休暇制度や短時間勤務制度の活用を推進するなど、男性の子育てや家事、介護へのより一層の参画の促進に努めます。」に修正する。
P11	関連する主な計画	広い分野にわたっての男女共同参画の推進が必要であり、少なくとも、男女共同参画に直接的に関連してくる「子育て」の分野の計画は記載すべき。	指摘を踏まえて追記する。	「沼津市子ども・子育て支援事業計画」と「沼津市子どもの貧困対策推進計画」を加える。

柱1-3 社会のつながりやコミュニティの強化

P13	1 地域コミュニティの強化	「地域コミュニティ」と一言で表現されているが、地域の中には様々なコミュニティがある。地域における多様なコミュニティを行政の方でつなげてもらえるとうい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「地域コミュニティ」は、自治会、各地区コミュニティ、地域にある様々な活動団体を包含した表記として整理し、修正する。 ①「自治会及び地域コミュニティとの連携」を「自治会や各地区コミュニティ、地域における様々な活動団体との連携」に修正する。 ②「自治会及び地域コミュニティ活動の～」を「自治会及び各地区コミュニティの担い手不足の解消を図り、運営改善に向けたセミナーを開催するなど～」に修正する。
P13	2 地区センターの機能の充実	地区センターは、災害時等には避難所になることから、感染症対策や高齢者等の弱者対策の視点を踏まえた活用について今後検討していくべき。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「～地区センターについて、老朽化した施設の対策や設備の充実などに努め、安全・快適で、円滑な利活用の促進を図ります。」に修正する。
P13	3 多種多様な社会活動の支援	「地域における課題解決のための活動を支援します。」として、行政主体の動きというニュアンスが強い。民間コミュニティとは対等な立場で連携強化していくことが必要であるので、「課題解決のための交流機会を拡充する」等の視点を踏まえた表現がよい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	○専門性を生かして活動している個人や団体、地域企業、福祉施設等の多様な主体による地域コミュニティとの交流機会の拡充に努め、相互の連携・協力により地域の課題解決を図ります。
P13	関連する主な計画	「沼津市戸田地区過疎地域自立促進計画」がこの項目であることに違和感	修正を検討する。	「沼津市市民協働に関する基本指針」に修正する。

柱1-4 市民の目線に立ったまちづくり

P15	2 広域生活圏を意識した近隣市町との連携の推進	大規模災害やこのコロナ禍などの「社会的なリスク」の多様化・多発化も背景とした新たな市民ニーズに、機敏に対応していくためにも広域連携を進めるといふ視点を意識した表現や施策推進を検討すべき。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「生活圏の拡大や価値観の多様化などを背景とした」を「生活圏の拡大や価値観の多様化など、様々な社会情勢を背景とした」に修正する。
-----	-------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	------------------	-----------------------------------------------------------------

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱5-1 安心して産み育てるための支援

P55	1 出会い、結婚、妊娠・出産を望む市民への支援	生活や子育てなどの結婚後を意識して考えるという学びの場が必要。施策の推進に当たっては、結婚観や家族観などが激変していることを前提とした行政に求められる結婚の支援を検討してもらいたい。	意見は、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P55	2 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援	「関係機関との連携」という部分について、民間と連携して取り組んでいる実情も踏まえた表現にしてもらいたい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「関係機関や民間団体等との連携」に修正する。
P55	2 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援	直接の当事者である妊婦、産婦、母親を支援するためには父親の育児参加をはじめとする様々なケアが重要であり、このことは明示すべき。「妊産婦等への支援を強化」という部分について、「父親の育児参加や妊産婦等への支援を強化」と表現した方がよい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「～妊産婦等への支援を強化するとともに、父親の育児参加を積極的に促すなど、～」に修正する。
P55	3 多様な悩みを抱える子ども・保護者への支援	障害の程度に関わらず、保護者にとっては同じように負担がかかっているという事実を認識して施策推進に取り組んでもらいたい。	意見は、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P55	3 多様な悩みを抱える子ども・保護者への支援	ひとり親家庭・母子家庭の経済的困窮がこれまで以上に大きな問題となっていることから、この点を意識した取組をお願いしたい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	下記のとおり修正・追記する。
	修正案→	○子どもやその保護者が安心して暮らせる生活環境の基盤を下支えするため、未熟児の医療費の助成や、難病や障害を抱える子どもの保護者等の経済的負担の軽減を図ります。 ○ひとり親家庭等の子どもたちの健全な育成を支援するため、基本的な生活習慣の習得支援や学習支援、食事の提供などを行います		

柱5-2 仕事と子育ての両立支援

P57	1 待機児童への対策	保育士等のエッセンシャルワーカー自身の安全・安心や雇用を確保するためという視点が必要である。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「保育確保への取組」を「処遇の改善による保育士確保の取組」に修正する。 タイトルを「待機児童対策の推進」に修正する。
P57	3 放課後児童クラブなどの居場所づくりの推進	子ども食堂や社会福祉協議会で取り組んでいる子どもたちの基本的な生活習慣を身に付けるための活動などは、ニーズの高まりとともに、今後拡充していくべきものと捉えていることから、「多様な民間での支援」などの表現を検討してもらいたい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「放課後児童クラブや放課後子ども教室など」を「放課後児童クラブや放課後子ども教室、多様な民間団体等による預かり支援など」に修正する。

柱5-3 みんなで支える子育て

P59	3 子どもの貧困・虐待への対策	虐待やDVなど、必ずしも家族は最終的に安全・安心な場所ではないという事実が反映されるような、あらゆる施策の取組を推進してもらいたい。	意見は、今後の施策を推進する上で参考とする。	本文は修正なしとする。 タイトルを「子どもの貧困・虐待防止対策の推進」に修正する。
-----	-----------------	--------------------------------------------------------------------	------------------------	----------------------------------------------

柱5-4 未来を担う人づくり

P60	SDGs 項目	「5 ジェンダー平等を実現しよう」を追加すべき。	追加する。	「5 ジェンダー平等を実現しよう」を追加する。
P61	1 特色ある学校教育の推進	沼津の特徴的な取組である「チーム学校実現事業」の更なる充実を希望するので、「実践などを通じて」を「実践する事業を充実し」と修正してほしい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「特色ある授業や行事を実践する事業の充実を図り」に修正する。
P61	1 特色ある学校教育の推進	沼津の教育の特色である「言語教育」と「確かな知性」の育みについても、具体的に記述してほしい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	○子どもたちが変化の激しい社会やグローバル化の進展に対応できるよう、言語教育のさらなる充実により表現力と読解力を育成し、確かな知性を育みます。
P61	1 特色ある学校教育の推進	今後10年を見据えて取り組んでいくものであることを考えると、「インクルーシブ教育システムの構築に向け」という表現では市の姿勢として弱いと感じる。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	○特別支援学級等の連続性のある多様な学びの場を適切に設置し、障害のある子と障害のない子がともに学ぶ機会の充実に努めるとともに、お互いを尊重し支え合う心を育み、豊かな人格を形成するなど、インクルーシブ教育システムを推進します。
P61	1 特色ある学校教育の推進	特別支援学級の整備は急務であると考えて、「多様な学びの場の連携」を「特別支援学級の環境整備を進め、子どもたちが共生を当たり前と感じる学びの充実」に修正してほしい。		
P61	3 幼児・学校教育、地域、家庭との連携	地域で子どもたちを見守り育てていくという視点から、コミュニティスクールについて具体的に記述すべきではないか。	「各種教育機関、地域、家庭との連携」と「地域総がかりで」という記述表現で整理	修正なしとする。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱5-5 地域を支える人づくり

P62	目標 動き出す 創り出す	「それぞれの年代にふさわしい」の「年代」が、何のことなのか(時代ともとれる)わかりづらい。	表現を修正する。	「 <u>青少年の成長過程</u> に合わせた健全育成」に修正する。合わせて、「発達段階」の表記を「 <u>成長過程</u> 」に統一する。
P63	2 生涯学習の充実	「高齢者への学びの機会の提供」という部分に、是非とも「障害者」を加えてもらいたい。	「福祉分野との連携・協力」と記述しており、具体的施策において検討していく。	修正なしとする。

柱6-1 スポーツ・芸術文化の振興

P66	目標 動き出す 創り出す	新屋内温水プールについては、プールとして以外の機能についても検討してもらいたいと考えているため、「新屋内温水プール等の整備」という表現や、「施設の新しい利用方法を検討する」という視点を盛り込んでもらいたい。	新屋内温水プールに求められる機能や利用方法等については、今後の整備計画等の段階において具体的に検討していく。	修正なしとする。
P67	1 スポーツを活用した健康づくりの推進	「スポーツを活用した健康づくりの推進」というタイトルでは、柱6-2の健康長寿の推進の内容に含まれるような表現である。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「 <u>豊かなライフステージを支えるスポーツの推進</u> 」に修正する。
P67	1 スポーツを活用した健康づくりの推進	指導者やボランティア等の運動に関わる人材を確保し育てることは重要だが、その人たちが活動する機会の場の提供を充実させることが必要である。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「 <u>人材の確保・育成に取り組むとともに、その活動と機会の場の充実に努めます。</u> 」に修正する。
P67	3 市民の交流の場ともなるスポーツ施設の整備	「～スポーツ施設の整備」というタイトルになっているが、施設整備以外にも現存施設の活用等も内容に含まれており、整合が取れていない。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「 <u>市民の交流の場ともなるスポーツ施設の充実</u> 」に修正する。
P67	3 市民の交流の場ともなるスポーツ施設の整備	「～環境の整備に努めます。」とあるが、環境整備であれば項目1の内容となるので、「スポーツ施設の整備」とし、「誰にでも使いやすいユニバーサルデザインの施設整備に努めます。」の内容を包含するものと整理すべき。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「～誰もが気軽にスポーツやレクリエーションに親しめる <u>スポーツ施設の整備</u> に努めます。」に修正し、ユニバーサルデザインの項目を削除する。
P67	4 芸術文化活動の支援	芸術文化について、行政として「支援する」という内容しか記述されていない。芸術文化に対する今後10年間の市の理念・方向性や、芸術文化活動の場や機会の提供といった視点での記述を盛り込むべき。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	芸術文化に関する取組について、下記のとおり2項目立てで整理する。
	修正案⇒	<p>4 市民の芸術・文化活動の支援</p> <p>○沼津市芸術祭やぬまづ茶会など、市民の文化活動の場や機会の確保を図り、市民の自主的な芸術・文化活動を育成、支援します。</p> <p>○芸術・文化活動の拠点となる文化センターの施設改修に計画駅に取り組み、その利活用を推進します。</p> <p>5 芸術文化の振興</p> <p>○質の高い芸術文化の鑑賞機会の確保や、本市ゆかりの芸術文化の顕彰等により、市民文化の向上と、想像力や感性豊かな人間性の涵養を図ります。</p> <p>○地域の特色ある芸術文化の継承・発展を支援し、多様な芸術文化の発展、郷土愛の醸成を図ります。</p>		

柱6-2 健康長寿の推進

P68	現状と課題	「今後においては健康寿命のさらなる延伸が求められています。」とあり、確かに健康であり続けることは大切だと思うが、これは断言できるものなのか。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「今後においては、 <u>健康寿命をいかに延伸していくかが求められています。</u> 」に修正する。
P69	1 健康づくりの支援	「健康づくり推進員」という具体的な名称が使われることに違和感(今後10年で変わる可能性もありえる)。「地域における主体的な健康づくり活動への支援」などの表現にすべき。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「 <u>地域における健康づくり推進員の育成</u> 」を「 <u>地域主体での健康づくり活動</u> 」に修正する。
P69	3 こころのケアの充実	このコロナ禍における現状など、ゲートキーパーの方などの専門職の方や関係機関との連携を図り、相談支援体制を充実させることは重要な視点である。	具体的な施策に取り組む中においても、しっかりと意識していく。	修正なしとする。

柱6-3 高齢者に優しいまちづくり

P70	現状と課題	「高齢者人口」は「老年人口」に統一すべき。	表記を統一する。	「 <u>老年人口</u> 」に修正する。
P71	2 高齢者の生きがいづくりと社会参画の推進	元気な高齢者が増えている中において、高齢者の活躍の場を充実させることが重要であることから、是非とも「社会参画の推進」を強く意識した具体的な施策に取り組んでもらいたい。	意見は、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱6-3 高齢者に優しいまちづくり（つづき）

P71	2 高齢者の生きがいづくりと社会参画の推進	高齢者の運転免許証返納を推奨するような社会の流れにあるが、高齢者も車がないと移動に不便があるのが現状である。返納後のケアや公共交通の利便性向上等に取り組んでほしい。	柱7-5に記述している部分であり、委員指摘の点を踏まえながら、具体的な施策に取り組む。	修正なしとする。
P71	3 地域包括ケアシステムの強化	成年後見制度の周知と高齢者の権利擁護についても記述してほしい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。（高齢者の権利擁護については、「地域での連携・協働による高齢者の支援」の推進において、具体的な施策に取り組む。）	次の点を踏まえ、下記のとおり修正する。 ・地域包括支援センターの役割を踏まえた地域包括ケアシステムの強化に向けた取組と、地域主体による高齢者支援について、整理して表記 ・成年後見制度について追記
修正案→		<p>○地域包括支援センターを中核として、地域での連携・協働による高齢者の支援を推進するとともに、在宅医療・介護連携施策に取り組む、地域包括ケアシステムの強化を図ります。</p> <p>○認知症を患っても希望を持って日常生活を送ることができるよう、認知症対策や高齢者の意思確認方法の確立、成年後見制度の利用に関わる啓発や支援など、本人や家族等への支援の充実を図ります。</p> <p>○地域の関係者間における連携・協働により、地域課題への対応や必要なサービスの創出及び担い手の育成などを図り、地域住民主体による高齢者支援を推進します。</p>		
P71	4 単身高齢者等の孤立防止	「地域や民間事業者などと連携」について、どういった民間事業者なのかを具体的に記述した方がよい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「地域や高齢者と関わる機会の多い民間事業者などと連携」に修正する。
P71	関連する主な計画	関連する主な計画に「沼津市地域福祉計画」も含まれると思う。	指摘を踏まえて追記する。	「沼津市地域福祉計画」を追記する。

柱6-4 誰もが暮らしやすいまちづくり

P72	目標 動き出す 創り出す	「心も体も元気で健康」の「障害のある人が安心して～」という部分は、「動き出す創り出す」の部分で併せて記述してもよいのではないか。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「障害や障害のある人への理解促進と啓発強化を図るとともに、安心して自分らしい生活を営むことができるための支援に努め、共生社会の実現を目指します。」に修正する。
P72	目標 誇りとつながり	福祉の分野では「地域共生社会を目指す」ということがキーワードとなっているので、「地域創生社会を目指す」というような表現を加えるべき。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「～福祉のまちづくりを進め、地域共生社会を目指します。」に修正する
P72	目標 心も体も元気で健康	ユニバーサルデザインの推進については、「誰もが」という全体に係る部分であるので、「動き出す創り出す」の部分に記述した方がよいのではないか。	「動き出す創り出す」は新たな取組や創出のあるものとして整理している。	修正なしとする。 (ユニバーサルデザインについては、第4次から継続して取り組む心と体に関わる目標)
P72	目標 心も体も元気で健康	生活困窮者の自立支援の充実については、主な取組の概要と方向性にある「ネットワークを構築し」というキーワードを目標の部分でも記述した方がよい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「生活困窮者支援を通じた地域ネットワークを構築し、生活困窮者の自立支援の充実を図ります。」に修正する。
P73	2 障害への理解の促進	小さい時からの福祉教育というものが重要であることから、その点を踏まえた表現にした方がよい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「福祉教育」を「幼少期からの福祉教育」に修正する。
P73	4 生活困窮者の自立支援の充実	「将来困窮する恐れのある市民を早期に把握し」とあるが、ひとり親家庭や中高年のひきこもりやニートなど、現在困窮している人たちと将来困窮するおそれのある人たちの両者を支援するという表現で、より積極的に取り組んでいくという姿勢を示すべき。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「～ひとり親家庭やひきこもり、非正規労働者など、現に困窮し、又は将来困窮するおそれのある市民を早期に把握し～」に修正する。
P73	5 地域全体で支え合う福祉活動の推進	地区社会福祉協議会の「地区」を削除した方がよい。また、地域共生社会のキーワードを入れ込んで、「地域における福祉活動の継続的な取組を展開し、地域共生社会の推進を図ります。」と記述した方がよい。	指摘を踏まえて修正案を検討する。	「社会福祉協議会や福祉団体などによる支援体制を充実させ、地域における福祉活動の継続的な取組を展開し、地域共生社会の推進を図ります。」に修正する。
P73	5 地域全体で支え合う福祉活動の推進	現役で働く高齢者が増えていることなどを踏まえ、障害のある方や生活困窮者についてだけでなく、健常者への支援という視点も盛り込んでほしい。	高齢者への支援については、柱6-3で記述。その他、障害のある方や生活困窮者以外の方に対する支援については、「地域で支え合う福祉活動の推進」において、自助、共助、公助の考えのもとで取り組んでいくものとして整理	修正なしとする。

第2部会 産業・観光部会 における意見のまとめ

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱3-1 商業の振興

P31	全般	新型コロナウイルス感染症への対応として、商圏2～3kmの地域内経済の循環が重要となる。 支援などソフトの取組が中心と感じたが、沼津らしさを打ち出すことが課題である。	指摘を踏まえて修正を検討する。 意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	現状と課題に「 <u>地域内経済の循環という視点が重要</u> 」を追記する。
P31	1 魅力ある個店づくりの支援	①商業の振興、沼津の特産品等を活用した新商品～の前に、「 <u>農林水産業と連携して</u> 」を追加したい。	指摘を踏まえて修正を検討する。	特産品等を「 <u>沼津の農林水産物など</u> 」に修正する。
P31	2 商店街のにぎわいづくりと基盤の強化	商店街は、従来の役割と異なる機能が求められており、将来のあり方や、どのような生活空間にするかなど、検討してもらいたい。 北九州市の魚町銀天街など、SDGs は若者と商店街をつなげる御旗となる可能性がある。	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P31	3 まちづくりと連携したエリアの魅力創出	商店街の後継者不足による廃業が課題であるが、郊外のショッピングセンターへ向かう人の流れをまちなかへ変えるためには、交通インフラの整備が必要である。 駅前再開発が進まないと中心市街地の活性化は難しいが、岡宮など転入人口が増えており、若い世代に中心市街地へ来てもらうために、交通基盤整備が重要である。	まちづくりの柱2において記載しており、意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。

柱3-2 工業の振興

P33	1 新たな工業用地の確保	産業集積検討区域などを明確に示すことにより、企業誘致の活性化を図ってもらいたい。	基本構想で示しており、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P33	2 企業誘致・定着の推進	企業誘致がゴールではなく、特にIT企業では外からの刺激を受ける交流の場としてコミュニティづくりが重要である。 企業誘致は、住まいや居住環境など、市民の働く場所の確保や市外からの <u>移住促進に密接に関連</u> するため、視点を盛り込めないか。	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。 指摘を踏まえて修正を検討する。	「 <u>移住促進施策とも連携した</u> 」を追加する。
P33	3 中小企業の経営基盤の強化	ベンチャー企業は、サプライチェーンの川下の販売の部分が弱く、どのように製品を展開していくかが課題である。 浜松市のハッカソンなど、地域の課題を解決するアイデアを出してその具現化を行政が支援する取組は、企業の交流の機会となる。	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。

柱3-3 農林水産業の振興

P35	全般	今後10年の計画でコロナと共に暮らしていくか、克服している前提で考えていくか、コロナをどの立ち位置で捉えるかが大切である。 商業、工業、農林水産業は、連携できるかどうかで成果が変わる。市の組織も部門で分かれているが、工夫してできると他の市町以上の成果が生まれると思う。ITと農林、水産の組み合わせなど、おもしろい。	目指すまちづくりの方向性は揺るがないが、数年間は共生していく観点が必要と考えており、意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P35	1 農林水産業の基盤整備	沼津の魚市場は疲弊しており、活性化のためには仲買への支援が必要である。 釣り客のマナーが悪く、漁港整備と併せて啓発に取り組んでもらいたい。	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱3-3 農林水産業の振興(つづき)

P35	4 地産地消の推進	次の時代を担う子どもたちに沼津の地場産品を知ってもらうため、学校給食への提供を増やしてもらいたい。 コロナを受けて内需を豊かにすることが重要と考える。市民は豊かな農林水産物を意外と食べておらず、暮らしの中で <u>食の誇り</u> にはつながっていないと感じる。足元の恵みをどう市民に届けるか、恵まれた場所に暮らしているというマインド(幸福感)をどう創出するか、検討してもらいたい。 ふるさと納税の充実も地場産品のアピールにつながる。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「食の誇り、地域内での消費拡大」の視点を意識し、記載項目を統合して次のように修正する。 「 <u>〇産直市や地産地消関連イベント等を開催し、本市が誇る農産物や特産物、魚食の魅力などの普及啓発に努め、地域内での消費拡大を推進します。</u> 」
P35	5 特産品の開発とブランド化の推進	①商業の振興、沼津の特産品等を活用した新商品～の前に、「 <u>農林水産業と連携して</u> 」を追加したい。	指摘を踏まえて修正を検討する。	タイトルを「 <u>農林水産業と連携した特産品の開発と～</u> 」に修正する。

柱3-4 新たな産業の創出

P37	全般	SDGs は、ビジネスチャンスや新産業の育成にもつながる。	指摘を踏まえて修正を検討する。	3 起業創業の支援 の4つ目「ベンチャービジネスや社会問題の解決に取り組む…」を「 <u>ベンチャービジネス、SDGs や社会問題の解決に取り組む…</u> 」に修正する。
P37	2 異業種連携等による新商品開発支援	AOI-PARC との連携は良い。研究レベルが高い印象があるが、現場レベルまで落とし込めれば良い。 異業種連携として、ビジネスマッチングイベントの TECH BEAT に誘導するなど、既にある仕組みを活用すると良い。	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P37	3 起業創業の支援	創業において資金面の支援は避けて通れず、行政としてどう支援していくか、 <u>産学官金の連携が重要</u> である。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「 <u>起業創業支援機関と連携しセミナー等を開催するとともに、</u> 」を「 <u>起業創業に関するセミナーの開催など、産学官金の連携により、</u> 」に修正する。

柱3-5 労働人材の確保と育成

P39	全般	労働力と個人消費は相関関係にあり、 <u>雇用の確保</u> は経済を守ることにつながる。	指摘を踏まえて修正を検討する。	現状と課題に、「 <u>また、個人消費の活性化や地域経済の発展に向けて、雇用の確保が求められています。</u> 」を追記する。
P39	1 労働人材の確保・育成	子どもが市内企業のものづくりに触れる機会は重要なので、どの企業と連携するかも含め検討を進めてもらいたい。 顧客と接する仕事だけでなく、見えないところで活躍する職業についても <u>インターンシップ</u> のプログラムができると良い。企業側だけでなく、 <u>学校と連携してプログラムを作っていくと記載すべき。</u> 学生は、生活に密着した地元企業しか知らず、 <u>高校生や大学生を対象に、協業体験を通じて地元企業を知るプログラム</u> を作るべきである。 <u>インターンシップ</u> は定着したが、新しいことに対して現場の先生が混乱しないように、 <u>学校と地域で目的を共有したい。</u> 新卒者の定着も重要だが、 <u>Uターンが見られる30～35歳をターゲットに絞ったプロモーションが有効である。</u> 中小企業単独では難しいため、県や市を中心とした取組を期待する。 ・ <u>中学、高校時代に地元企業とつながりを作れば、将来のUターンにつながる。</u>	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。 指摘を踏まえて修正を検討する。	「 <u>合同就職面接会を開催するなど</u> 」を「 <u>インターンシップの推進や合同就職面接会の開催など</u> 」に修正する。 「 <u>高等職業訓練校や市内企業などとの連携により…</u> 」を「 <u>教育機関や市内企業などとの連携により…</u> 」に修正する。
P39	2 事業承継の推進	事業承継と相続は喫緊の課題であり、コロナで後継者不足による廃業の動きが加速している。金融機関と行政の連携を進めていきたい。	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱4-1 沼津の魅力の発信

P43	全般	県内・近県の～という表記で、 <u>マイクロツーリズム</u> の視点を加えた方が良い。 「～のまち」など、沼津の顔となる観光のテーマや構想があると良い。	指摘を踏まえて修正を検討する。 意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	4-3 沼津ならではの観光の提供に「 <u>マイクロツーリズム</u> 」の視点での記載を追記する。
P43	1シティプロモーションの推進	沼津出身者やインフルエンサー等の活用は、良い取り組みで進めてもらいたい。ネットとリアル(イベントなど)を上手くつなげてもらいたい。	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P43	2映画等のロケーション誘致の推進	沼津のフィルムコミッションは、活動が長く実績もあるので、改めて <u>バックアップ</u> を意識してもらいたい。 フィルムコミッションでは、制作側との調整など、人が重要である。	指摘を踏まえて修正を検討する。	協力者等への支援も意識して「 <u>地域のフィルムコミッションなど</u> 」に修正する。
P43	4ふるさと納税等の推進	ふるさと納税は、農商工連携を意識して進めてもらいたい。	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P43	5スポーツによるオンリーワンブランドの形成	スポーツについて、サイクリングも表記した方が良い。	指摘を踏まえて修正を検討する。	4-3において、スポーツツーリズムについて集約・整理し、修正する。

柱4-2 地域資源の創造と磨き上げ

P45	全般	市民が <u>安心して歩けるまち</u> でなければ、観光客は歩かない。	指摘を踏まえて修正を検討する。	4-3に「 <u>安心して歩けるまちづくり</u> 」を追記する。
P45	1インナープロモーションの推進	インナープロモーションは、地域経済の循環につながる。 行政だけでなく、 <u>市民から市民への発信がより浸透し</u> 、市民があたりまえと思っている良さを分かりやすく別の視点でどう共感を高めていくかが、重要である。 インナープロモーションは、シティプロモーションにつながる。 内浦西浦地区の魅力を子どもたちが発信するフリーペーパー作りがなされているが、子どもが大人になってからも活動に関わり、インフルエンサーとして発信が見込めるため、長期的にこうした活動の支援や参加者とのつながりを持っていくことが重要である。 マニアックな沼津好きによる旅行商品の造成など、尖った戦略が効果的である。団体単位ではなく、地域で活動に取り組む専門家まで落とし込んだうえで、子どもとのつながりを作ると、より共感力を高められる。 未来を創る子どもたちが、ふるさとでどのような感情を持って暮らすのか、教育現場との連携は重要であり、教育現場と地域をつなげるプラットフォームが構築できるとよい。	指摘を踏まえて修正を検討する。 意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	「 <u>市民自らが発信するインナープロモーションの促進を図ります</u> 」を追記する。
P45	2歴史・文化資源の保存と活用	アニメや映画、歴史、文化などの実績や背景を紹介する施設など、沼津との関わりを一過性のものとせずに残してもらいたい。	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P45	3新たな地域資源の発掘・創造	新たな地域資源に <u>アニメや映画などコンテンツ</u> を盛り込んで良い。 沼津には洋食文化があり、バー文化という文言があるが、食文化でも良いのでは。	指摘を踏まえて修正を検討する。 バー文化を特色として打ち出すこととしたい。	「 <u>、アニメ等のコンテンツについて</u> 」を追記する。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱4-3 沼津ならではの観光の提供

P47	全般	マイクロツーリズムなど、新しい観光を作り出していくことが必要である。 SDGs を志として活用して、若い人の共感や商店街・企業の理解を得ると良い。 イベントの開催をただ周知するだけでなく、どんな楽しみ方が体験できるかまで掘り下げたプロモーションが重要である。まずは市民が沼津の魅力を満喫して発信することにより、外からの誘客につながると良い。	指摘を踏まえて修正を検討する。 意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	「マイクロツーリズムや市民主体」の視点を2のツーリズムの推進に追記する。
P47	1にぎわいの創出	にぎわいの創出は、市民が作らなければならない、先ず市民にイベントを周知することが大切である。沼津の人が沼津のまちを歩き、その場所だけでなく、そこから他の場所へ人の流れを作る仕掛けをイベントで作れると良い。	指摘を踏まえて修正を検討する。 意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	「市民主体や歩けるまちづくり」の視点を2のツーリズムの推進に追記する。
P47	2スポーツ、歴史・文化、産業、地域資源等を活用したツーリズムの推進	取組が盛沢山だが、優先順位や役割分担のもと、楽しいお出かけとして市民の行動に結びつける仕掛けにすると良い。	指摘を踏まえて修正を検討する。	項目の名称を「地域資源を活用したツーリズムの推進」に改める。 記載内容については、これまでの意見を踏まえて集約・整理する。
P47	3MICE 誘致、広域での観光振興	MICE の実施において、市民が歓迎する機会を作ると良い。ヨーロッパでは、まちのフェスティバルの際に街中に旗がはためき、市民もイベントを楽しんでいる。市民が MICE の内容や参加者を知ることにより、安心感にもつながる。	意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。

柱4-4 インバウンド施策の推進

P49	全般	インバウンドが元に戻るまで3、4年かかるという説がある一方で、解禁後はすごい勢いで復活するとも予想されており、いかに準備しておくかが課題である。沼津はどんなインバウンドを求めているか、整理する必要がある。 外国人はどの国をターゲットとするのが不明確である。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「〇市内在住の外国人と協力して、各国のし好などを調査・研究するとともに、効果的な誘客施策などを検討します。」を追加する。
P49	1おもてなし態勢の整備	インバウンド対応として、キャッシュレスの推進も検討してもらいたい。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「キャッシュレス化の推進」を追記する。
P49	2インバウンドに対応した観光商品の創出支援	対象を絞るに当たり、国だけでなく、ゴルフなど目的を意識した方がよい。沼津は体験型観光が弱く、新たに作る必要がある。少人数で2泊したら楽しいまち、などコンセプトを作ると良い。	指摘を踏まえて修正を検討する。 意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	「ターゲットを明確にしたマーケティングを図り、外国人向けの魅力ある体験型観光…」に修正する。

柱4-5 移住・定住の推進

P51	全般	コロナでリモートワークが進み、拠点を地方に移す動きがある。上手くプロモーションをかけるとともに、ぬましんコンパスなど既存の拠点と連携を進めると良い。沼津出身者が転職せずに帰ってきて、地元企業との交流が深まると相乗効果が生まれる。	指摘を踏まえて修正を検討する。 意見については、今後の施策を推進する上で参考とする。	1 ぬま暮らしの発信 に 「〇リモートワークの進展などの新しい生活様式においても、首都圏近接やアクセスの良さ、高速通信網の活用など、利便性の高いぬま暮らしの発信に努めます。」を追加する。
P51	2移住・定住支援の充実	タクシー案内は面白い取組なので記載した方が良い。 リモートワーク、長期滞在、季節移住、里親（ラブライバーと商店街の関係）、お試しシェアオフィスというキーワードを追記すると良い。 個人の移住だけでなく、企業と連携した移住も追記すると良い。 リモートワークや移住に欠かせない高速通信網の活用を記載すると良い。	“市内案内”という表現に留める。 指摘を踏まえて修正を検討する。	「シェアオフィスの紹介」を追記する。 「移住者が空き家を改修して居住する場合の補助制度などを検討し、…」を「移住希望者の事前の暮らし体験や、本市への移住を後押しする支援制度などを検討し、…」に修正する。

第3部会 快適・安心部会 における意見のまとめ

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱2-1 沼津駅周辺の整備

P18	◆現状と課題◆ 7行目	都市機能を集約という表現がでてくるが、駅前周辺や居住地域などがどのようなデザイン、機能になるのか。	基本構想、P8、P9にイメージ図、都市の構成要素のとおり、沼津駅を中心として、それぞれの拠点を有機的につないでいく。沼津駅を中心に半径3キロ圏内については、都市的居住圏として位置付け、居住空間の創出や都市機能の集積を図る。また、鉄道高架事業による鉄道施設跡地などに、行政機能や病院機能などの都市機能の集積、駅前広場の整備などを検討する。	修正なしとする。
		総合計画において、「都市機能の集約」という言葉を使うと、誤解を招くのではないか。集約だと、市街地が小さくなるイメージを持たれるのではないか。	表現について検討する。	「都市機能が充実した」に修正する。
P18	全般	文章だけだと、イメージがわきにくいと思う。	基本計画内の「本市の10年後の姿」や概要版において、市民がイメージできるような絵を書ければと考えている。	基本計画内の「本市の10年後の姿」や概要版において、市民がイメージできるような絵を書ければと考えている。

柱2-2 都市骨格の構築とコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの推進

P20	全般	全体的に地域に関する表記が薄いのではないか。	「地域別まちづくりの方向性」において、市内を4つに区分し、地域ごとの方向性等を記載する予定である。	「地域別まちづくりの方向性」において、市内を4つに区分し、地域ごとの方向性等を記載する予定である。
P21	2 拠点間を結ぶ公共交通ネットワーク	公共交通ネットワークの再編、公共交通事業者との連携とあるが、具体的にはどのような考えでいるか。	事業者間での重複路線の再編、集約、わかりやすい乗り場にするため、行き先方面別に再編するなど、利便性の向上に取り組む。	修正なしとする。
P21	3 新しい技術やモビリティへの対応	新しい交通システムとは、具体的にはどのようなものか。	バス路線の空白地域において、地域による自主運行バスの運行の検討、路線バスが走っていない時間帯における、乗り合いタクシーの導入の検討などが挙げられる。	整理し、「新しい交通システム」を「自動運転技術の活用などの新たなモビリティサービスについて」に修正する。

柱2-3 既存ストックの活用

P23	3 空き家等の適正管理と活用	空き家等の適正管理と空き家等の発生抑制・利活用の関係がよくわからない。また、発生抑制しなくてはならないのは、周囲に悪影響のある空き家であり、少子高齢化が原因としての空き家は発生すると考えられる。したがって、特定空き家の発生抑制は、適正管理で意味が通じると思うので、「空き家等の適正管理と利活用を促進します」に修正したらどうか。	表現について検討する。	既存の空き家等への対策だけでなく、空き家等の発生を予防することも重要と考えている。このため、「空き家等の発生予防に向けて、相続手続き等の周知啓発を行うとともに、公民で連携した取組等により、空き家等の適正管理と利活用を促進します。」に修正する。
-----	----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

柱2-4 快適な住環境の整備

P25	「3 快適な住環境の整備」1つ目	「…計画的に住宅地の創出…」とあるが、新しく住宅地を創出する計画があるのか。岡宮北土地区画整理事業以外の箇所で、新たに整備されるイメージを持たれるので、「計画的」は削除した方がよいのでは。	表現について検討する。	「計画的に」を削除し、「土地区画整理事業などの市街地開発事業等を実施し、快適な住環境の整備を行うとともに、良質な快適な住環境の整備を行うとともに、良質な住宅地の創出を図ります。」に修正する。
P25	「3 快適な住環境の整備」の2つ目	「創出を検討します」と、この箇所だけ検討になっているが、何か理由があるのか。	中心市街地が生まれ変わるなかで、高度利用などを検討している。表現について検討する。	「…の創出を図ります。」に修正する。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱2-5 居心地よく質の高い都市空間づくり

P27	3 健康・文化・交流ゾーンの形成	市民がみてもわかりやすくするために、具体的な施設名などを加えた方がよいのではないか。	総合体育館や市民文化センター等を含めて記載するかどうかを含め、表現を検討する。	「都市機能を集積する…連携を図ることで、 <u>にぎわい空間としての中心市街地と、スポーツ・健康づくりの拠点となる総合体育館、文化・芸術活動の拠点である市民文化センターとが有機的に…</u> 」に修正する。
-----	------------------	--------------------------------------------	-----------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

柱7-1 災害に強いまちづくり

P79	1 地震・津波対策の推進	市民に伝わりやすい文章にするべきである。津波からの避難におけるソフト対策について、避難困難地区対策も含め、厚みをもたせて書ければ、より伝わりやすいと思う。 南海トラフ地震での事前避難の検討について記載がないので、7-1-1「地震津波対策の推進」に記載してはどうか。	伝わりやすい表現、記載内容の追加を検討する。	○地震・津波からの人的被害の最小化を図るため、津波避難ビルの指定や津波避難路の整備をはじめとした <u>迅速避難の環境整備や、家庭における地震対策の促進など、沼津市地震・津波対策アクションプランに基づいた減災対策をさらに推進します。</u> ○津波からの避難が困難な地域においては、避難場所の確保を推進するとともに、 <u>事前避難など必要な防災対応について検討します。</u> ○関係機関と連携し、 <u>自発的な防災活動を促す地区防災計画の作成や防災訓練の実施など、地域の特性に合わせた地震・津波対策を進めます。</u> に追記、修正する。
P79	「2 気候変動の影響を踏まえた災害対策の推進」3つ目と4つ目	内容を見ると一つにまとめてよいのではないかと思う。	指摘のとおり、修正を検討する	「 <u>排水機場や雨水貯留地などの適正な管理に努めるとともに、それらの長寿命化を図ります。</u> 」に、まとめて修正する。
P79	3 わかりやすい防災情報の発信	SNS などを使って情報発信をしようと思うが、それらが使えない場合の別の手段も考えておかなくてはならないのではないか。	危機管理情報メールやツイッターなどを利用して、市民には様々な防災情報を伝えている。それと併せ、普段から複数の媒体を利用して情報を入手できるように伝えている。	修正なしとする。
P79	「4 様々な防災の取組の強化」の3つ目	「国や県の管理する河川…」とあるが、狩野川など具体的な名称を記載したほうがわかりやすいと思う。	指摘のとおり、修正を検討する。	「 <u>狩野川や黄瀬川などにおける大規模な河川氾濫を想定し、…</u> 」に修正する。

柱7-2 強靱な地域づくり

P81	4 防災・減災・復旧対策の推進	罹災証明の発行など被災者が日常生活に戻るよう、生活再建支援に関する記載を、入れたらどうか。	指摘のとおり、修正を検討する	7-2-4 に「 <u>○被災者の日常生活の早期回復に向けて、生活の復興に向けた相談体制の整備、災害時応援協定の締結など連携体制の強化、緊急物資の備蓄品の充実などを推進します。</u> 」を追記する。
-----	-----------------	-----------------------------------------------	----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

柱7-3 自主防災力の向上

P83	3 避難所運営の充実	マニュアル作成主体や、市の支援など、わかりやすい表現を検討してほしい。 避難所のトイレの配置について、人から見えない場所に設置することにより、犯罪が発生するケースがあると聞く。そのようなことが起きないように、マニュアル作成の際に、重要な観点を取り入れることができるよう支援をお願いしたい。	表現を検討する。 他地区で課題になった事項等を情報提供しながら、避難所運営のマニュアル作成支援を行っていきたい。	「 <u>地域住民等が主体となって取り組む各地域の避難所運営について、女性の視点への配慮や、感染症拡大防止対策など、専門的知見の情報等を共有し、地域におけるマニュアル作成を支援します。</u> 」に修正する。
-----	------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱7-4 市民の安全・安心の確保

P85	3 感染症など新たな危機事象への対策	<p>新型コロナウイルス感染症への対応を検証する」とあるが、検証となるとある程度対応が終わってからになると思うので、「新型コロナウイルス感染症に機動的に対応するとともに、対応についての検証し、対策に反映させる」といった内容にしたらどうか。</p> <p>また、「危機事象…」以後は、別建てにして、「危機事象について、関係機関との連携を強化し、市民への迅速で適切な…」といった内容にしたらどうか。</p>	表現等を検討する。	<p>項目を2つに分け記載する。</p> <p>○感染症や外来危険生物など、新たな危機事象について、迅速かつ正確な情報収集に努め、危機管理体制の速やかな確立を図ります。</p> <p>○危機事象について、市民への迅速かつ適切な情報提供に努めるとともに、関係機関と連携して機動的な対応を図ります。</p> <p>併せて、目標を「感染症などこれまで…危機事象に対して早期の対応を図り、安全・安心な市民生活の確保に努めます。」に修正する。</p>
-----	--------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

柱7-5 安全で快適な交通社会

P87	1 歩行者の安全に配慮した道路の整備・管理	観光振興や健康増進等につながる「自転車活用推進計画」についても沼津市は作成していると思うので、その内容についても記載していけばいいのではないかと思います。	「1 歩行者の安全に配慮した道路の整備・管理」を整理し、表記等検討する。	<p>歩行者の安全配慮と自転車利用者の安全性向上に項目を分けて、記述を整理する。</p> <p>1 歩行者の安全に配慮した道路の整備・管理の2つ目、3つ目を整理し、「○誰もが安心して通行できるよう、道路の劣化状況などに応じた適正な生活道路の維持修繕や交通安全施設の整備等に努めます。」に修正する。</p> <p>2 自転車利用環境の整備等 を追加 「○誰もが安全・安心、快適に自転車を利用できるよう、交通量や道路の幅員などの交通状況等を考慮した自転車通行空間の整備を推進します。」</p> <p>「○自転車を活用したサイクルツーリズムや健康づくりなど、誰もが自転車を楽しむことができる環境を創出します。」を追記する。</p>
P87	「2 交通安全意識の向上」の3つ目	自転車利用者の安全向上に対しての文言が少なく感じる。	安全利用については、もう少し具体的な表現を加えて、わかりやすい表現を検討する	「○自転車の点検整備や駐輪、通行ルールなどの周知と遵守を図り、各世代の自転車の安全利用を促進します。」に修正し、2 自転車利用環境の整備等に記載する。
P87	3 高齢運転者による交通事故の防止の2つめ	高齢者は、免許証を自主返納した後、どんな支援が受けられるか考えるので、公共交通の利用支援が受けられるような意味合いを加え、わかりやすくした方がよいのではないかと。	指摘のとおり、修正を検討する 公共交通の安全性について、表現を検討する。	「自主返納した高齢者に対し、安全な公共交通の利用促進に向けた支援等を…」に修正する。
P87	4 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	直接的に公共交通を使うことで、市民の安全につながる、安全性が高まることについて意識されないのではないかと。		

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱8-1 環境への負荷低減

P91	2 公共交通・自転車など環境に優しい交通手段の利用促進	「新技術による交通システムなどの調査、研究」とあるが、例示がないとわからないので、できれば例示をかいてほしい。 「公共交通、自転車など環境に…」とあるが、自家用車についても記述をしても良いのではないか。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「…を図るとともに、 <u>グリーンスローモビリティなどの新たなモビリティサービスの調査、研究を進め…</u> 」に修正する。 なお、自家用車については、1環境に配慮した事業活動の推進における「低公害車の…、市民・事業者に対して普及促進を図ります」の記載で足りると判断し、表題から「公共交通・自転車など」を削除する。
P91	4 再生可能エネルギーの有効活用	再生可能エネルギーの有効活用について、環境に配慮すると考え方は理解できるが、積極的に取り組む姿勢には見えない。他市では、精力的な取組事例が出ている。今後10年間これでのよいのか、市の考え方を再検討してほしい。	再生可能エネルギーについては、自然との調和を前提として、有効活用を図る。また、エネルギーの地産地消の取組の推進や公共施設などへの再生可能エネルギーの導入を進める。	「 <u>〇太陽光・太陽熱、地中熱、バイオマスなどの再生可能エネルギー導入を促進するとともに、エネルギーの自家消費や地産地消など、地球温暖化対策の観点から効果的な利活用を促進します。</u> 」 「 <u>〇再生可能エネルギーの導入や利活用に当たっては、市民生活や多様な生態系、景観等との調和を図ります。</u> 」に修正する。

柱8-2 資源循環型のまちづくり

P93	2 安全で環境負荷の少ないごみ処理の推進	最新の技術を導入したとあるが、どのようなものがあるのか。	施設を作る時点での最新の技術ということもあるが、例えば、高効率のボイラーを導入するなどが挙げられる。	「 <u>最新の技術情報をもとに、より効率よく、より環境負荷の少ないごみ処理を目指し、災害にも強く安全な新中間処理施設の建設を行います。</u> 」に修正する。
-----	----------------------	------------------------------	----------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------

柱8-3 自然共生型のまちづくり

P95	1 自然環境・生物多様性の保全	愛鷹山麓とあるが、山麓の表現は広すぎると思う。	愛鷹山とその麓に広がる森林の両者を意識したものであり、基本構想でも同じ表現としている	修正なしとする。
P95	2 生態系から恵みの持続的な享受と活用	現状と課題などで、「里地、里山、里海」とあるので、「2 生態系から恵みの持続的な享受と活用」にも里地を追記した方がよい。	指摘のとおり、修正する。	「…に享受・活用するために、 <u>里地、里山、里海など…</u> 」に修正する。

柱8-4 良質な水資源の確保と水質保全

P97	3 排水の適正利用と汚染防止	沼津市における下水道整備に関しては、地区により処理施設があり下水道整備が進んでいるため、今後は、合併処理浄化槽の切り替えを進めるのか。他市によっては、下水道の新規整備ではなく既存物を更新することが課題になっている。沼津市は、どのような整備を進めていくのか。	沼津市下水道ビジョンに基づき、適正に下水道整備、合併浄化槽の整備を推進していく。下水道計画区域の見直しを行いながら、下水道管の布設等推進し、下水道接続率、普及率の向上を図っていく。	修正なしとする。
-----	----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	----------

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
-----	------	-------	---------	----------

柱8-5 環境を大切に作る人づくり

	1 環境教育・学習の推進	学習と教育の記載について、意図的に分けているのか。	体験学習などを通じて自ら学ぶものを学習、先生など指導者を通じて学ぶものを教育として記載しているが、わかりにくいため、整理した記載を検討する。	1つ目、2つ目を整理し、 「○自然体験活動や生態系を題材とした学習等を通じ、里地・里山・里海等への愛着を育むとともに、自然環境を大切に作る人づくりを推進します。」 3つ目、4つ目、5つ目を整理し、 「○市民一人ひとりの生活における環境保全意識のさらなる醸成を図るため、幅広い世代を対象とした環境教育を推進するとともに、教育機関等との連携による環境教育・学習に取り組みます。」に修正する。 また、6つ目の項目をわかりやすい表記とするため、「○市民・事業者が自主的・積極的に開催する環境学習を支援します。」に修正する。
--	--------------	---------------------------	------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

その他

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
	各柱の◆目標◆	各柱に「目標」とあるが、普通の言葉で言うと「方向性」だと思う。	指摘を踏まえて修正する。	目標を方向性にし、右ページは「主な取組の概要」とする。
	各柱	数値目標は持たないのか。	数値目標については、柱ごとに設定していきたいと考えている。	案については、資料3のとおり 第3章 分野別まちづくりの方向性の各まちづくりの柱の最初のページに記載する方向で検討する。